



CISJ NEWS

A Publication of the Clinical Implant Society of Japan

August 2019

ご挨拶



一般社団法人
日本インプラント臨床研究会

会長
田中 譲治

祝 創立45周年

本年、当会日本インプラント臨床研究会は創立45周年を迎えました。これもひとえに会員の皆様方のご支援の賜物と深く感謝いたします。インプラント治療の研鑽を目的に故乙部 朱門先生の呼びかけで創立したのが1974年で、インプラントがほとんど知られていない時代に、海外にてインプラント臨床を学び我が国に持ち帰って来てくださった故乙部 朱門先生に敬意を表します。

創立45周年記念大会では東京ミッドタウン日比谷にて過去最高数の159題という演題のもと、熱気ある大会が開催できたこと大変うれしく思います。記念講演には歯科医療と健康長寿を結びつけるオーラルフレイルの提唱者であり、インプラントの大会では初めての講演と伺っている飯島 勝矢先生にご登壇頂けたことは、インプラント治療が国民の健康に寄与できることが明らかになった証という意味でも、記念大会にふさわしい講演になったのではと考えております。

創立45周年祝賀会においても、ザ・ペニンシュラ東京にて多くの会員の方にご参加頂き、特別功労賞、全参加者投票で選出したポスター優秀賞、会員500人目賞、恒例の相浦名誉会長デザインによる特注ワインなど、とても華やかにおこなえたことに感激しております。加えて、ベストセラーとして定着している創立40周年記念誌に続いて、移り変わりの激しいインプラント分野において待望されていた「21世紀版インプラントのための重要12キーワードベスト240論文」を創立45周年記念誌として発刊できたのも大変うれしく感じております。

さて、会員の先生方のご活躍にも目を見張るものがあり、武田 朋子先生は日本臨床歯周病学会の理事長に就任され、鈴木 仙一先生がICOI(国際口腔インプラント学会)の世界会長に就任されましたことは、会の誉れであります。

次に8月4日には第10回関東甲信越支部学術シンポジウムが行われました。関東甲信越支部のさらなる活性化のために、相浦 洲吉元支部長の提案で始まったシンポジウムの第10回の記念大会を当会が主管を受け持ち、どのような大会にするか検討を重ねた結果、全研修施設発表会という初めての試みを企画させて頂きました。前途多難な企画の中、熱田 互実行委員長の身を尽くした努力と実行委員の先生方のおかげで、記念大会にふさわしい素晴らしい大会にすることができました。たくさんの会員の先生方の参加を頂き心より感謝申し上げます。

そして、来年2020年9月18日～20日には、第50回公益社団法人日本口腔インプラント学会記念学術大会が行われます。大会長を当会前会長の井汲 憲治先生、実行委員長を私が拝命いたしました。日本口腔インプラント学会とともに歩んできた当会の立場としても、何ともしも歴史に残る盛大な記念学術大会になれるよう全身全霊を傾けて準備に取り組んでおります。会員の皆様方の厚いご支援あってこそその成功ですので、どうぞ指導ご鞭撻のほど心よりお願い申し上げます。